

令和4年度

学校関係者評価書



高千穂町立高千穂中学校

(1) アンケートは、7月と1月に生徒、保護者、教職員の3グループに実施した。上段の数値は、4段階評価の3グループの平均点、下段の数値は、肯定的割合（4段階評価のうち、4または3を回答）の3グループの平均。

(2) 自己評価については、次のとおり。

4：肯定意見80%以上	「目標を十分に達成した」
3：肯定意見60%以上80%未満	「目標を達成した」
2：肯定意見40%以上60%未満	「目標を下回った」
1：肯定意見40%未満	「目標を大きく下回った」

« お 願 い »

学校関係者評価委員の方々には、「学校関係者評価委員コメント」と「委員評価（4段階評価）」の記入をお願いします。

取組	アンケート				学校関係者評価委員コメント
確かな学力の定着 確かな学力の定着	1 「分かった、できた」と感じる授業を行い、学力の向上を図る。				
	(時期) 評価 肯定割合	(7月) 3. 1 87%	(1月) 3. 0 81%	(年間) 3. 1 84%	★＜評価委員コメント＞ ・先生のテンポにうまく乗せられる監事でみんなの集中力を高め、授業に引き込んでいくクラスのまとめ方に感心しました。正に授業力を高める研究授業の成果です。 ・参観させていただきましたが、先生の授業の内容が大変素晴らしいと思いました。 ・短い時間の授業参観でしたが、国語の授業が、特に印象に残っています。短い漢字のことばが、白表紙に書かれてあり、素早く見せて、生徒が読んでいました。とても興味のわく授業だと思いました。 ・これから先は、タブレット等を活用した授業が増えてくると思われるので、タブレットに苦手意識を持つことなく、使えるように個々に応じた指導も必要になると思う。 ・学びの場（生徒同士で教え合うなど）の確保も大事になってくる。
	分析結果	目標を十分に達成した 目標を十分に達成した。授業力を高めることを目的とした研究授業の実施は、本年度で6年目であるが、この成果が現れているのではないかと。			
	今後の方策	○ 今後も全教員によるICTを活用した研究授業を継続していく。 ○ グループ学習の機会を増やし、学び合いを取り入れる。また、生徒たちの学習状況をしっかりみながら個にも応じた授業を進めていく。			
	自己評価	4	委員評価	★ 4	
	2 家庭での学習習慣を身に付けさせる。				
	(時期) 評価 肯定割合	(7月) 2. 7 67%	(1月) 2. 7 63%	(年間) 2. 8 65%	★＜評価委員コメント＞ ・兄弟がいたり、三世代同居とか各家庭の環境が違うので、家庭学習の在り方はそれぞれだと思いますが、家族の協力が一番だと思います。学校側と保護者が、相互の連絡や通知を密にすることが良いのかなと思います。 ・家庭での学習は、親がうまくやらなければ難しいと思います。 ・今の世の中は、スマホが手放すことができないアイテムですが、いかにスマホを手にとらないかが、学習時間を増やせる方法だと思います。 ・ゲーム、スマホの時間、学習時間との切り替えがうまくいっていない気がする。学習時にもスマホを持ち込み、集中できないのでは。 ・授業は、どの生徒も真面目に取り組んでいる。 ・ゲーム、スマホの使用に関しては、子ども任せではなく、保護者の管理もある程度必要だと思う。保護者の面倒がらない言葉かけは大事ではないか。
	分析結果	目標を達成した 目標は達成した。生徒の肯定的評価が、7月1月60%・7月56%、保護者が7月59%、1月50%と低く、教師側の評価（～身に付くように指導している）は、7月89%、1月81%と高かった。家庭学習の実態はあまりよくないので、教師側の指導法の改善が必要である。			
	今後の方策	○ 家庭学習をしなければならないという生徒への意識づけを各教科だけでなく、学活等の進路学習を使って行う。 ○ 通信やPTA総会を通じて、保護者の協力を求める。また、小学校との連携をとり、家庭学習習慣を身に付けさせる。			
	自己評価	3	委員評価	★ 3	

豊かな心の醸成

取組	アンケート				学校関係者評価委員コメント
	3 いじめをしない、させない、見逃さない指導をする。				
	(時期) 評価 肯定割合	(7月) 3. 4 89%	(1月) 3. 3 86%	(年間) 3. 3 88%	★＜評価委員コメント＞ ・いじりもいじめも受けた側は〃被害感覚だと思いま す。いじりもいけないと普段からしっかり教えていく ことは、いじめの芽を摘むことになると思います。今 の学校の取組は良いと思います。 ・これまでのように、ご指導をお願いします。安心し ております。 ・いじめ問題は、双方の感覚によって大きな差のある 事案ですが、学校側も毎月のアンケート等で対応され ており、気を配られているので、安心であります。人 間の心の変化は、態度に表れるので、その辺りを学校、 家庭で見守ることが大事なかなと思います。 ・友だちのふざけが、気づかないうちに、虐げる（し いたげる）ことなりかねないので、悪質なふざけは見 逃さない。 ・自分がされて嫌なことは、他人にもやらせないとい う気持ちを全体に浸透させる。 ・アンケートや聞き取りは、大切だと思う。 ・子どもの日頃の様子の観察が大事だと思う。
	分析結果	目標を十分に達成した 目標を十分に達成した。各教科の授業に おいて、お互いに支え合い聴き合う関係づ くりができており、学級内の人間関係は良 好だと思われる。			
	今後の方策	○ 毎月の「いじめアンケート」や教育相 談等を用いて、いじめの早期発見・早期 対応を行う。 ○ ピアサポート活動を通して、不安や悩 みを話したり、聴いたりしながら、仲間 同士で支え合い、友達への関わり方を学 び、相手の考えや行動を理解し、尊重す る態度を育てる。			
	自己評価	4	委員評価	★ 4	
	4 集団の一員として、挨拶ができ、相手の立場を考えて行動できるよ うに指導する。				
	(時期) 評価 肯定割合	(7月) 3. 4 94%	(1月) 3. 3 92%	(年間) 3. 3 93%	★＜評価委員コメント＞ ・高千穂町での子どもたちの挨拶のことがよく取り上 げられますが、誇らしいことだと思います。このまま、 この形で指導の継続ができれば、素晴らしいことです。 ・挨拶はよくしてくれます。家庭での挨拶もお願いし ます。 ・高千穂中学校の生徒さんは、とてもよく挨拶ができ ていて、とても気持ちのいいものです。この気持ちを 忘れずに、大人になってほしいですね。 ・中学生は、場面が変わっても挨拶がきちんとできて いて、とても気持ちがよい。声を出すことで、いろい ろなことへの自信にもつながるのではと思う。 ・前向きに、積極的に取り組む生徒が、特に元気の良 い挨拶をしてくれる。 ・先生方の指導や生徒会活動の指導の成果です。
	分析結果	目標を十分に達成した 目標を十分に達成した。昨年度のアンケ ートの結果（評定3.3、肯定94%）と比べる と大きな違いはなく、人間関係づくりは上 手にできるようになってきたのではない か。			
	今後の方策	○ 生徒会の取組を継続し、あいさつのポ イントを紹介するなど全校生徒の意識 を高める。 ○ 授業はもちろん、全ての教育活動の中 で、協働的な学びを増やし、協力して活 動に取り組ませる。その中で、相手の立 場を考えることの大切さを体験的に学 ばせる。			
	自己評価	4	委員評価	★ 4	

健やかな体の育成

取組	アンケート				学校関係者評価委員コメント
	5 朝ご飯を毎日食べ、体育の授業や部活動などを通して体力の向上を図る。				
	(時期) 評価 肯定割合	(7月) 3. 5 9 1 %	(1月) 3. 4 9 2 %	(年間) 3. 5 9 2 %	★＜評価委員コメント＞ ・朝ご飯をしっかり食べることは、一日を始める準備をすること。朝ご飯を食べ、学校に行き、おいしい給食をいただき、夜は家族揃って食事をする、当たり前の日々を健康に過ごせることが一番大事です。体と心を健康に保つために、食事は大切です。 ・朝ご飯を家庭で食べるのは、親は子どもの様子が分かるし、よい子だと思います。 ・将棋の藤井五段の対戦を見ても、体を動かしてないのに、かなりの食事をしているのを見ますが、脳を使うことにより、エネルギーが必要なことが分かります。朝食を抜くことは、脳の働きが鈍ると思われるので、朝食は是非摂ってもらいたいものです。 ・まず家庭内での生活リズム(早寝・早起き)を整える。 ・家庭での協力、保護者への呼びかけ、親の意気込み ・給食への栄養面での期待を持っている親も多い。 ・子どもたちの反応は、「給食はとても美味しい」とのことで、学校生活の楽しみの一つになっている。
	分析結果	目標を十分に達成した 目標を十分に達成した。昨年度のアンケート結果（評価3.4・肯定91%）から若干上昇しているので、下記の対策を徹底していきたい。			
	今後の方策	○ 給食指導時に残食をなるべくしない指導していく。 ○ 保健だよりや食育だよりを活用して、朝ご飯の大切さや体力の向上について啓発を続けていく。			
	自己評価	4	委員評価	★ 4	
	6 自分の身は自分で守るという自己管理意識を持たせる。				
	(時期) 評定 肯定割合	(7月) 3. 4 9 2 %	(1月) 3. 3 9 2 %	(年間) 3. 4 9 2 %	★＜評価委員コメント＞ ・災害時、命を守る行動をとる、自分の身は自分で守る、他人の迷惑にならない、危険察知能力は繰り返しの訓練でついてくと思います。避難訓練などで徹底してください。 ・常に意識した生活をする。私たち町民も、子どもたちの安全に気を配ります。 ・狭い道路から広い道路に差し掛かるときや横断歩道では特に気をつけてほしいものです。右折の時は、運転席から死角になるところがあるので注意しています。 ・「命はひとつ」個々に意識する。 ・自分の命は自分で守る。 ・災害は、いつ、どこで起こるか分からないことを意識しつつ生活する ・地域での見守りや地域の人とのつながり（顔見知り）を持つ機会を増やしていく。 ・定期的な訓練は、とても大切だと思う。訓練時は、本番と思ってやる。
	分析結果	目標を十分に達成した 目標を十分に達成した。昨年度のアンケート結果（評価3.3・肯定93%）から若干上がっている。日々の指導の成果が現れているのではないかと。			
	今後の方策	○ 通学路点検や保護者からの通学路情報、町全体での情報交換を通して、機会がある度に、登下校を含め身近なところに危険が潜んでいることを啓発していく。 ○ 避難訓練等を通して意識づけしていく。			
	自己評価	4	委員評価	★ 4	

